

Japan Mobility Show 2025 ブース出展（実施報告）

1. 出展の概要

自動車に関心を持ったユーザー等に対して、自動車アセスメント及びナスバ業務を広く紹介するため、ジャパン・モビリティ・ショー（Japan Mobility Show 2025。以下「JMS」という。）にブースを出展した。東京会場に加え、名古屋会場及び大阪会場にも同様の出展を行った。

<日程等>

- ・東京会場：令和7年10月29日(水)～11月9日(日)
東京ビックサイト(東7ホール)
- ・名古屋会場：令和7年11月22日(土)～11月24日(月・祝)
ポートメッセなごや
- ・大阪会場：令和7年12月5日(金)～12月7日(日)
インデックス大阪

<展示物>

- (1) 試験済み車両（2024年度ファイブスター賞のクラウンセダン）
- (2) 新オフセット前面衝突試験で使用する台車の実物大模型
- (3) 自動車アセスメント等のナスバ業務を紹介するパネル
- (4) 自動車アセスメント等のナスバ業務を紹介する映像
- (5) ナスバギャラリー
- (6) ナスバちゃん(土・日・祝のみ)
- (7) その他(パンフレットの配布等)



2. 結果概要

(1) JMS来場者数及びブースでのパンフレット受取人数

- ・東京会場
JMS来場者数 : 101万人（主催者発表）
ブースでのパンフレット受取人数 : のべ10,605人^{*1}
- ・名古屋会場
JMS来場者数 : 15.5万人（主催者発表）
ブースでのパンフレット受取人数 : のべ4,625人^{*2}
- ・大阪会場
JMS来場者数 : 22.4万人（主催者発表）
ブースでのパンフレット受取人数 : のべ3,800人^{*3}

^{*1}メインの「自動車安全性能 2024」が9,100枚、その他パンフレットが1,505枚

^{*2}メインの「自動車安全性能 2024」が3,900枚、その他パンフレットが725枚

^{*3}メインの「自動車安全性能 2024」が3,300枚、その他パンフレットが500枚

(2) アンケート結果(全会場集計)

- ・回答者数 : 1,727人(東京) + 723人(名古屋) + 591人(大阪)
- ・認知度等の結果 : 現在分析中

(3) 取材の有無 業界複数社(東京)

(4) 振り返り

- ・ブース来場者は様々（一般人の他、メーカー等技術者、運送事業者、業界等）であったが、試験済み車両、台車模型、パネル等によって展示内容に係る説明を適切に行うことができた。特に今回重きを置いた新オフセット前面衝突試験の「共存性能」の考え方の普及に対しては、多くの来場者から、共感と賛同を示された。これにより、自動車アセスメント部以外の者を含む職員側も自信を持って積極的に話しかけることができ、結果として、多くの来場者に対するアセス業務とナスバ業務の理解促進に取り組めた。
- ・自動車アセスメント評価検討会及び技術検討WGの委員にもお越しを頂いた。心より感謝申し上げます。
- ・来場者対応時に多く聞かれた質問は、次のとおり。

- ✓ 新オフセット前面衝突試験の概要
- ✓ 商用車に対するアセスメントの実施の有無
- ✓ ドライバーモニタリングシステムに対する評価の有無
- ✓ 新オフセット前面衝突試験の台車重量・ハニカムの変更に関する今後の予定

(参考) 今後の方モビリティショーの予定

名称	日程	会場
Japan Mobility Show Fukuoka 2025	令和7年12月18日(木)～12月21日(日)	マリンメッセ福岡
Japan Mobility Show Sapporo 2025	令和8年1月23日(金)～1月25日(日)	大和ハウス プレミストドーム

以上